

①活動概要

17世紀半ばまで伊勢本街道として使われてきた古道「古坂道」は、近年まで隣接する美杉町の川上山若宮八幡宮への参拝の道として使われてきたが、昭和34年の伊勢湾台風で谷あいの数箇所が崩落し、通行不能となっていた。仁柿地区では復旧を望む声は多く聞かれていたが、風景街道「伊勢街道」連絡協議会の支援をきっかけとして、仁柿地区住民協議会が道の拡幅や倒木の除去、橋や急斜面への階段や手すりの設置などの復旧活動に取り組んだ。（H20）

②活動の体制

活動団体

仁柿地区住民協議会

支援団体

風景街道「伊勢街道」連絡協議会

③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】・民有地を通る山道のため、所有者の同意を取り付けるのに苦勞した。 ・崩落箇所の旧道の再現と安全の確保のため、ルートづくりに頭を悩ませた。

【工夫した点】

- ・新聞やケーブルテレビを通じて情報発信をし、他地域からもボランティアを募り作業を行った。
- ・地域団体の活動を支援することで、風景街道「伊勢街道」連絡協議会の活動目的や事業内容を具体的にPRすることを心がけた。



階段設置作業



道の拡幅作業

④活動の効果

- ・事業を通じて、伊勢本街道に対する住民の理解が深まった。 ・ボランティアを募ったことで他地域とのつながりが広がった。
- ・風景街道「伊勢街道」連絡協議会が地域の活動を支援するモデル事業となった。

⑤今後の活動

- ・地域外からの協力を得るための組織づくりを検討中。
- ・道標や案内看板の整備、トイレの設置など、安全で安心な街道づくりに取り組みたい。
- ・古坂道に続く奈良県までの林道の調査を進め、整備計画を立案中。
- ・計画中の国道368号線バイパス工事に対して、古道の保存を呼びかけたい。

問合せ先

担当:風景街道「伊勢街道」連絡協議会 事務局
奈良県土木部道路建設課

電話:0742-27-7495